

事務事業調書

平成26年度

事業No	902	課	都市計画課	係	総合交通係	起案者	小栗滋昭
						決裁者	杉浦互
事務事業名		エコサイクルシティ協働推進事業			事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	3 自然と共生した環境づくり 3 道路・交通 3 自転車 9 上記施策以外の施策 9 上記施策以外の施策		予算科目(会計)		一般会計	
			予算科目(款・項・目)		40-20-5	
			総合計画以外の計画		エコサイクルシティ計画	
			関連する総合計画の施策			
			性質区分	市の内部事務事業		
根拠法令	無					
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	有 平成23年9月定例会(第3回) エコサイクルシティ計画の基本方針に沿って、自転車による街づくりを市民と					
陳情・市民要望	有 ご意見BOXほか					
実施方法	一部委託	委託先	その他(エコサイクルシティ実行委員会)			
実施期間	開始	平成20年度	経過	6年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	移動手段として主に自動車を利用している人が		~になる	環境にやさしく健康増進に繋がる自転車を利用するようになる	
事務事業の内容	エコサイクルシティ計画「計画推進—市民・事業者・行政の協働による自転車まちづくり」を推進するため、計画の適正な進捗管理を進めるとともに、市民の自主性に基づき事業を実施してもらうことにより市民団体の育成を促し、協働による自転車まちづくりを進めます。					
改善・対策の履歴	環境にやさしく健康にもよい自転車に、より興味を持ってもらったり、家族で気軽に自転車を楽しんでもらう為、大人から子供まで幅広く参加できるような内容のイベントを行なうよう心掛けています。また、自転車安全利用啓発グッズにおいても実用性があり、より興味を引く人気のあるものを選定し、自転車利用に繋がるようにしています。					

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	6,312	7,063	10,750	11,078	11,695
財源計	2,847	3,283	6,970	6,353	6,970
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他( )	0	0	0	0
	一般財源	2,847	3,283	6,970	6,353
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費(従事職員数)	3,465 (0.55)	3,780 (0.60)	3,780 (0.60)	4,725 (0.75)	4,725 (0.75)
人事課予算分人件費	0	0	0	0	0

### 3 各活動にかかるコスト

			年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動1	活動名 (活動内容)	イベントの開催	見込	4.00	3.00	3.00	2.00
			実績	4.00	3.00	3.00	
	指標名 (単位)	開催回数(回)	活動の総事業費(千円)	1,616	1,921	6,904	
			活動にかかるコスト(千円)	404.00	640.33	2,301.33	
活動2	活動名 (活動内容)	エコりんりんによる打合せの開催	見込	3.00	3.00	3.00	3.00
			実績	2.00	4.00	9.00	
	指標名 (単位)	開催回数(回)	活動の総事業費(千円)	630	945	630	
			活動にかかるコスト(千円)	315.00	236.25	70.00	
活動3	活動名 (活動内容)	自転車購入費補助及び自転車利用安全利用講習会参加	見込	90.00	90.00	100.00	100.00
			実績	92.00	114.00	87.00	
	指標名 (単位)	自転車購入補助台数(安全講習会受講者数)(台)	活動の総事業費(千円)	3,061	2,862	2,532	
			活動にかかるコスト(千円)	33.27	25.11	29.10	

### 4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	イベント参加人数(人)			目標	950.00	1,650.00	1,650.00	1,500.00
				実績	1,083.00	2,568.00	2,070.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	達成	
成果2				目標				
				実績				
	目標達成年度	目標成果指標値		達成状況				

### 5 成果1、2以外の成果

成果	平成22年度から実施しています自転車利用促進を目的とした自転車購入費補助の申請は増加してまいりました。平成25年度により広く多くの方に自転車を利用していただくため、補助要綱を見直しました。補助申請の件数は若干減りましたが、全体で87件の利用となりました。また、自転車安全整備費補助についても補助額の見直しにより56件の補助を行い、より安全に自転車を利用していただける環境を整えました。
----	--

### 6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	自転車まちづくりサポーター(エコりんりん)による平成25年度の啓発イベントを2回開催しました。その他に南吉生誕100年記念イベントとして、自転車利用による半田市と連携した南吉探訪スタンプラリーを行ないました。費用が掛かりましたが県外からの参加者もあり、多くの方に参加をいただきました。
成果	イベントの参加人数に関しては、近年の自転車ブームや自転車の交通事故増加による安全意識を反映し、毎年増加傾向にあり目標を達成していますが、平成24年度のイベントは2日間開催のイベントがあったこともあり、平成25年度のイベント参加者を比較すると人数が伸びない状況でありました。

### 7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
各イベントにブースを出展する形で自転車利用啓発を行なっていることを活かし、より多くの市民に自転車利用を促すためには、環境面や健康増進に加え、近年注目される地震などの災害時にも燃料なしで移動可能である自転車の有効性についてアピールしていくことが重要であります。

### 8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	環境首都を目指す取り組みとして、移動手段に自転車や公共交通機関への転換を図る必要があります。より多くの市民に自転車を利用してもらえるように経済的な自転車走行空間の整備を進め、家族で楽しめる自転車ネットワークの構築を図り、健康的な日常生活を送れるよう啓発活動を市民との協働で進めていきます。